

令和2年大船渡市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時

令和2年12月22日（火） 午後2時00分から午後3時50分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
生 涯 学 習 課 長	熊 谷 善 男

5. 議 事

議案第1号 令和2年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する議案（教育に関する事務について定める部分）の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和2年大船渡市議会第4回定例会について
- ② 学校統合推進協議会の進捗状況について

（教育総務課）

- ① 大船渡市教育振興基本計画の策定状況について
- ② 令和2年度 大船渡市立博物館 特別陳列事業「縄文時代のものづくり 土器」展の開催について
- ③ 令和2年度 大船渡市立博物館 特別陳列事業 特別展「津波災害からの復興～東日本大震災から10年、チリ地震津波から61年の記録～」の開催について

（学校教育課）

- ① 第6回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 赤崎中学校・綾里中学校の閉校式の開催について

③ 市内小・中学校等の冬休み期間について

(生涯学習課)

① 令和2年度初級英会話講座「これからはじめる英会話」の実施状況について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和2年大船渡市教育委員会第12回定例会の開会を宣言する。
- ・令和2年第11回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長兼教育総務課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・大船渡中学校と末崎中学校統合について、統合の協議は全て白紙とすることを確認したということは、次回以降の統合推進協議会は今のところ開催する予定はないということか。

(教育次長)

- ・そのように認識している。

(教育長職務代理人)

- ・まだ新聞等に掲載されていないが、掲載後は大船渡・末崎地区、そして市民の方から様々な意見等が寄せられるだろう。そういった意見等に教育委員会としても注意深く目を通しておく必要がある。

(教育次長)

- ・昨日、遅くの会議だったため、新聞には明日掲載されるかと思う。大船渡・末崎地区の保護者には本日中に学校から連絡する予定である。様々な意見を十分吸い上げながら、今後の進め方についても再度検討していきたい。

(委員)

- ・とても残念だ。今まで、積み重ねてきたものが白紙になる。生徒達にPTAとして地区として良い後ろ姿を見せてくれることを望む。

(委員)

- ・子ども達は大船渡中も末崎中も統合するのを楽しみにしていただろう。大人が白紙にしてしまい、子ども達がかawaiiそうである。
- ・普通に考えると、新設統合となれば校名から校歌・校章を全て新しくするものではな

いか。譲ったり譲られたりするものではないと思う。双方で校名は私達の学校のもの、校歌は私達の学校のものと後々まで続き、間違っただけで伝わることもあるだろう。

- ・人数が多くなると話がまとまらなくなる。ある程度の人数で骨子を決め、全体で確認をするというのも一つのやり方である。

(委員)

- ・他市にいた時に小学校が統合したことがあるが、その時は地区の主張をあまり感じなかった。やはり、通っている子ども達と保護者が大事にされるべきかと思う。
- ・子ども達にどう説明するのか。地区の方や先生方の責任は非常に大きいだろう。
- ・少人数教育も素晴らしいが、ある程度の人数がいなければ出来ないこともたくさんある。出来るだけ良い方向にいてほしい。

(教育長)

- ・委員の方々の意見は、協議会のあいさつ等を通して伝えている。各方面から教育委員会が主導して進めるべきだという意見をいただいたりもした。昨日は、各地区の気運を待つということとなったが、各地区小中学校のPTAの意見等を確認し、PTAの方々に寄り添った形で進めていきたい。
- ・大船渡小学校と大船渡北小学校の統合もある。こちらは、同じ地区内なので順調に進むと思うがどうか。

(教育次長)

- ・校舎の安全性等が一番求められている。進めていきたい。

(委員)

- ・校舎の安全性といえば、末崎小学校も結構古い。いずれ、末崎中学校の校舎に移ると聞いていた。学校をこれから3校建てるのは大変だろう。

(教育長)

- ・統合が控えていたため、文部科学省の方針により末崎中学校にはエアコンを設置していない。統合が白紙になったことにより、学校の修理修繕等、変更せざるえないことが多々出てくるだろう。

(委員)

- ・第一中学校を新しくしているが、教室は35人学級に対応できるのか。

(学校教育課長)

- ・5クラスまで想定している。通常は4クラスを使用しながら、5クラス目を多目的スペースとして使用する。

(教育長)

- ・岩手県では既に35人学級を実施している。40人学級の教員定数で35人学級としていたため、教員が少ない現状だった。正式な定数となり、教員の数が増える。

(教育長職務代理者)

- ・緊急スクールサポートスタッフの効果的な活用に向け、各校で工夫して取り組んでいることが良くわかった。来年度以降も継続して各校に配置してほしい。

(学校教育課長)

- ・学校からの要望も多い。今後、実施予定である希望調査等でも県に伝えていきたい。

(委員)

- ・緊急スクールサポートスタッフの業務内容が具体的に明記されている。サポータの方も仕事がしやすく、先生方も活用しやすいだろう。

(学校教育課長)

- ・出来る限り、情報提供をしていきたい。

(教育長職務代理人)

- ・陸前高田市では、今年度からコミュニティ・スクール導入に取り組んでいる。情報交換をし、当市が推進していくうえで参考となる部分について生かしてほしい。
- ・これまでの教育振興運動の取組みにより、学校と地域が連携していく基盤は出来上がっている。コミュニティ・スクールはその体制の更なる強化として期待されている。

(学校教育課長)

- ・教育振興運動についても、地区によって活動内容や組織に差がある。既存の部分と調整しつつ学校を中心とした活動を円滑に実施できる方向性を考えていきたい。

(委員)

- ・教職員の任用に関し、教育委員会に意見を述べるができることになるが、人数も現在の評議員の倍となるため、人事に対し安易な発言等がでないか心配である。

(学校教育課長)

- ・教職員の任用について、学校の希望に応じて意見できるということで、個人的な要望等で個別に先生を指名して意見するものではない。
- ・人数は要綱等を作成する際に学校と調整していきたい。

(教育長職務代理人)

- ・英会話講座の受講生による自主サークルが誕生する雰囲気はないのか。

(生涯学習課長)

- ・今の段階ではサークルまでは難しいと感じている。

(教育長職務代理人)

- ・以前、中央公民館が星空の魅力を伝える講座を開催した際、その受講者が自主サークルをつくり、今も星空案内人として市民の皆さんが星空を楽しめる環境づくりの一助を担っている。このように、講座終了後に自主的なサークルが出来て、発展的に活動が続いていくことが本来望ましい姿だと思う。単発的に講座を開催して終わりせず、中央公民館の職員が少し手助けをし、意識のある方に働きかけをしていくことで、次の自主サークルへと繋がっていくのではないかと期待している。

(生涯学習課長)

- ・続けて参加している方を中心に働きかけをしていけば、サークルに発展していく可能性はある。中央公民館に相談しながら働きかけしてみたい。

(委員)

- ・中学生英語検定料助成事業の実施により中学生の受験者数や合格率は増えているのか。

(学校教育課長)

- ・助成事業の実施により受験者数は増えた。合格率は思っていたような成果は出ていない。ALTも活用し、英語が好きな子ども達を増やして積極的に英検に挑戦してもらい、合格率を上げていきたい。

(委員)

- ・前に配布された各学校の年間事業目標は様式が統一されていなかったが、この「大船渡市学校教育の重点の反省」に当てはめていくとわかりやすい。

(学校教育課長)

- ・後でまとめたものを、定例会において報告したい。

(委員)

- ・大船渡市総合計画の基本事業「豊かで強い心の育成」が「豊かな心の育成」となり「強い」という文言が外れたが、その意図は何か。

(教育次長)

- ・国や県の教育基本計画に準じて文言を合わせた。児童生徒にも様々な子どもがいるため、限定せず多様性を認めるという考え方があるのではないかと思う。

(委員)

- ・ICTの活用により、不登校の生徒も教室と家庭がインターネットの画面上で結ばれた学習が可能になり、家庭にいても友達と交流することができるということか。

(学校教育課長)

- ・GIGAスクール構想の中でICTを活用したイメージとなるが、その通りである。実際の運用に際しては、不登校の理由は様々であり、対面で交流できる子どもだけではないが、その良さを生かしていきたい。

(委員)

- ・学校の臨時休業について、国のマニュアルを基本としながら臨機応変に対応するということはとても大事であると感じた。

(学校教育課長)

- ・当市にも新型コロナウイルスの感染者が出たが、内部で検討を深め、概ね順調に対応している。更に連携を図りながら、より良い対応ができるようにしていきたい。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・日程第2、議案第1号について、説明を求める。

(教育次長)

- ・日程第2、議案第1号 令和2年大船渡市議会第4回定例会に追加提案する議案（教育に関する事務について定める部分）の作成に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。

(教育長職務代理者)

- ・OS（基本ソフトウェア）の選定理由は何か。

(教育次長)

- ・県内の小中学校は、ほとんどWindows使用している。高校も同様と見込み選んだ。

(教育長)

- ・市議会からは、小学校1年生で持ったものを6年間持つのかという質問があった。

(学校教育課長)

- ・基本的にはMyタブレットと考え、小学校の間は同じタブレットを持つ。

(教育長)

- ・中学校には持っていない。

(学校教育課長)

- ・備品の管理が難しくなるため。

(委員)

- ・タブレットの耐用年数は大丈夫なのか。

(学校教育課長)

- ・5年程度という話もある。今後、国の動きを確認しながら、次回の更新時期を検討していきたい。

(教育長)

- ・他に質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・議案がないことを確認後、令和2年大船渡市教育委員会第12回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員